

子ども・子育て応援プラン（第4期計画）の総合的な評価指標（アウトカム指標）について

（総合的な評価指標の考え方）

- ① 「めざす姿の具体像」に対する達成度合いを把握するため、10項目程度の指標を設ける。
- ② 「日本一」を具体的に評価するため、できる限り、全国の順位が出る指標とする。
- ③ 各指標の目標値は、全国トップレベル（5位以内）とする。

- ④ 進捗管理をよりきめ細かく行うため、できる限り、毎年結果が得られる指標とする。
- ⑤ 全国調査結果が毎年得られない場合には、数年置きに行われる全国調査の指標とする。
- ⑥ 全国比較ができない場合には、県内調査等により得られる絶対値を指標とする。

第4期計画（案）				参考（第3期計画）	
具体像	指標	基準値	設定理由等	指標	H30指標 （一部H29）
1 県民みんなが子どもの育ちに喜びを感じることができる	①住んでいる地域の子育て環境や支援への満足度が高い、やや高い人の割合（県民意識調査/毎年）	52.6%	全国で同様の調査がなく、全国順位算出が困難。絶対値が適当 見直し	住んでいる地域の子育て環境や支援への満足度が高い、やや高い人の割合	1位
2 希望する人が家庭を築き、子どもを持つことができる	②特定不妊治療費・子ども医療費・保育料助成の制度比較（大分県調査/毎年）	確認中	助成額での比較よりも制度比較の方が適当（各県制度を本県の基準で点数化し比較） 見直し	子ども1人当たりの医療費・保育料等助成額（大分県調査/毎年）	8位 (93.0%)
	③合計特殊出生率（人口動態統計/毎年）	11位 (86.0%)			
3 親と子どもが十分に向き合うときを持ち、互いに喜びを感じることができる	④6歳未満の子どもを持つ男性の家事・育児関連時間（社会生活基本調査/5年に1回）	12位 (83.7%)			
	⑤ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親（3歳児）の割合（母子保健に関する実施状況等調査/毎年）	19位 (67.4%)	具体像に沿った指標として適当である 新規	25～44歳女性の就業率（就業構造基本調査/5年に1回）	21位 (78.6%)
4 地域とつながりながら、安心して子育てをすることができる	⑥子育てが地域の人に支えられている、と答えた人の割合（就学前児童、小学生を持つ親）（県民意識調査/毎年）	69.9%			
	⑦保育所入所待機児童数（厚生労働省調べ/毎年4月1日現在）	8位 (93.0%)			
	⑧放課後児童クラブ待機児童数（厚生労働省調べ/毎年5月末現在）	22位 (60.5%)	就学後の状況を把握するため設定 新規		
5 かけがえのない個性ある存在として、自己肯定感を持って育つことができる	⑨自分にはよいところがあると思う、と答えた子どもの割合（中学3年生）（文部科学省全国学力・学習状況調査/毎年）	19位 (67.4%)			
	⑩子どもと将来の夢や希望について語り合う機会を、意識して持っている人と答えた人の割合（小学生を持つ親）（県民意識調査/毎年）	今年度調査実施	親の前向きな関わりにより、自己肯定感を育めているか確認 新規	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している、と答えた子どもの割合（中学3年生）（全国学力・学習状況調査/毎年）	H29 : 21位 (62.8%)